

公益社団法人

# 信和会だより

2023 年冬号



発行：信和会事務局  
左京区田中飛鳥井町 89  
Tel:075-712-9099



## 新春のご挨拶

2023 年 1 月

公益社団法人信和会

理事長 小林 充

新年あけましておめでとうございます。昨年は、繰り返す Covid19 感染の蔓延と戦争によって誰もが翻弄された 1 年でした。当法人でも法人目標を、「取り戻し、強め、前進させよう！コロナ過と失政に奪われ脅かされた、人権・暮らし・つながる力とまちづくりを」と掲げ、奮闘してまいりましたが、事業所でのクラスター発生や医科事業所共通の電子カルテの障害により、ご迷惑をかけ事業的にも痛手を負った 1 年となりました。

一方、続けてきた取り組みや新しい挑戦が希望を切り開きかけた 1 年でもありました。東山診療所エリアのリニューアル事業は区切りを迎え、茶山のさとの介護医療院への転換を終えました。きわめて活動が制限される中でも、あすかいこども食堂や各地域で連帯しての食料支援プロジェクトが継続して取り組まれてきました。参議院選挙後改憲派が多数になった下でも、その具体的な動きをおしとどめてきています。コロナ禍・災害下にあって迅速に事業継続の可否を判断し、法人内の相互支援を活かす経験を重ねてきました。困難の続いていた人材受け入れと育成で一定の前進があり、WEB や動画配信の利用を強めて法人内外の連携強化・相互学習を重ねてきました。

今年も新年早々、Covid19 が感染症法上インフルエンザ並みへと扱いを変更される可能性が叫ばれています。行政の責任が放棄されないよう対応し、声を上げて行かねばなりません。ロシアによるウクライナへの侵略戦争が続いており、それを口実にこどもから高齢者まで暮らしを犠牲にして未曾有の軍事費増強を図ろうとする動きが強まっています。気候変動への問題は世界共通の喫緊の課題であり、戦争などしている場合ではなく、そちらにこそ思い切った投資が必要になっているのに、です。当法人独自の課題としては、事業的に痛手を受けた中でも、川端診療所リニューアル事業のめどをつけていく必要があります。

サッカーの世界カップでの日本代表の奮闘に多くの国民が励まされました。優勝経験国を相手にしても、ち密に戦略を立て、一人一人が勇気をもってひるまず挑み続けることの大切さを教えてくれたように思います。当法人も、皆様と共に、勇気をもって大きく困難な課題にでも立ちむかい、そしてこじ開ける、ブラボーな 1 年にしたいと思います。



### 秋の社保・共同組織月間

ご協力ありがとうございました



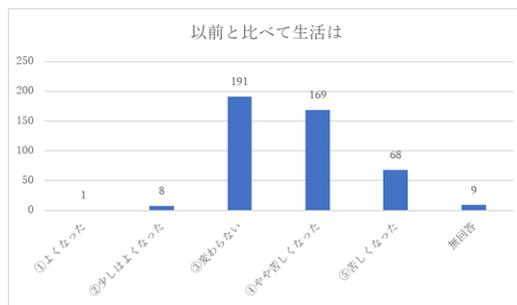
9 月にスタートした 2022 年度秋の社保共同組織月間は安倍元首相の国葬反対の取り組みや、75 歳以上の方の一定以上の所得の方の医療費 2 割負担が 10 月 1 日から実施されたこと、京都市の行財政改革のもとでインフルエンザの予防接種負担金補助制度の改悪、介護保険制度の改悪や軍備拡大と大増税が言われる中、憲法を守れ、暮らしを守れ、の声が大きく広がる月間でした。

10 月 15 日にオンライン開催した支部活動交流集会には 80 名の方が参加。大原サロンを毎月開催し、その中で確実に仲間を増やし続けている大原支部、信和会の 18 番目の支部を誕生させ、役員会の世代交代を課題に挙げて取り組んでいる山科友の会、五条通り以北に初めて支部を結成した東山健康友の会、友の会活動を改めて学び直した川端診療所、地域に出ることの大切さを根強く職場に広げた茶山のさと、各支部・事業所から感動的な報告があり、支部活動を前進のため、職員がもっと地域に出て、役員さんや会員さんとまちづくりの取り組みを一緒に進めることの大切さについて再認識する大切な場となりました。

この月間で 212 名の方を新しく友の会に迎えることができました。いつでも元気の読者仲間が 65 名増えました。新しく入会された方々と一緒に、安心して住み続けられるまちづくりに向けて取り組みを継続したいと思います。

## 生活の変化「やや苦しくなった」と「苦しくなった」は全体の53%

秋の社保共同組織月間中に（10月～11月実施）取り組んだ“暮らしと要求アンケート”に447名の方から回答をお寄せ頂きました。ご協力ありがとうございました。設問の『以前と比べて生活は変わりましたか』に「やや苦しくなった」と「苦しくなった」は全体の53%となりました。「医療費窓口2割負担で、食費を切り詰めるしか方法はないか、食品の値上げで生活できません」「数年衣服を購入していません」など生活の厳しさを訴える声がたくさん寄せられました。地域からの生の声をもっと発信し、政策に反映させることが大切です。憲法問題では7割の方が改正に反対と答えておら



れますが、友の会会員でも9条の改正に賛成・わからないが2割以上おられました。現状認識の為には両方の視点からとらえることが重要となっています。

今後も、新しく入会された方々と一緒に地域の声に寄り添って、誰もが安心して住み続けられるまちづくりの運動を進めていきたいと考えています。



## 訪問看護ステーションどんぐり・ヘルパーステーションくるみ発

子供のころに慣れ親しんだ「どんぐり」そんなどんぐりがいつも近くに感じられるように雨にも負けず風にも負けず笑顔で訪問に参ります

地域の医療機関、介護事業所と共に協力して地域の中で住み続けたいという人たちの、健康、生活を守るため努力します（どんぐり医療福祉宣言）



訪問看護ステーションどんぐりの活動拠点は東山区。1996年に開設し、現在26年目を迎えました。開設以降、数回の事務所移転、2022年11月からは東山診療所の仮診であったところを改修し、訪問看護ステーションどんぐり、ヘルパーステーションくるみの事務所として利用しています。現在、休止中のどんぐり居宅介護支援も23年2月より同敷地内に事務所を構える予定です。事務所前は市バス停留所泉涌寺があり、いつも事務所付近は観光客で賑わっています。

訪問看護の仕事をしていると多くの人との出会いがあります。特に人生の先輩方には教わることがたくさんあり、訪問看護をしながら私たちが日々勉強させていただいています。

どんぐりは、ご利用者さまが住み慣れた場所で安心して住み続けてもらえるよう「介護が必要になっても、認知症になっても、一人暮らしになっても、経済的な事情に関わらず、医療・介護・生活支援が切れ目なく保障される無差別・平等の地域包括ケア」（学習ブックレット「民医連綱領と歴史より」）をこれからも目指し、まちづくりに貢献していきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 基金 信和会の事業を支える基金・寄付金募集中 寄付金

信和会の法人経営全般にわたって活用させていただく資金で、長期にお借りするものです。

友の会に加入していただくことをお願いいたします。

- 借入期間 5年満期【5年据え置き(無利息)後は自動継続】
- 利 息 無利息
- 募集対象 友の会会員で18歳以上の方とします。
- 募集限度額 信和会の他の基金と合わせ総額300万円までです。一世帯1,000万円とします。

※銀行や郵便局での振込は2,000円以上でお願いします。  
郵便局の場合、現在ATMで152円、窓口で203円の、現金で払い込む場合は110円の負担が必要になりますが、振込手数料は全額信和会が負担します。振込手数料を引いてお振り込みください。

法人経営全般にわたって活用されます。確定申告で寄付金控除が受けられます。



### 【振込先銀行口座】

- 京都銀行 銀閣寺支店  
普通 878550 公益社団法人信和会 理事長 小林充
  - 京都信用金庫 銀閣寺支店  
普通 634707 公益社団法人信和会 理事長 小林充
- フリガナ  
コウエキシャダンホウジシンシンワカイ リジチョウ コバヤシミツル

問合せ先：協力金・基金事務局 075-712-0511